医療を通じて、愛を世界へ。

公益社団法人

日本キリスト教海外医療協力会

JAPAN OVERSEAS CHRISTIAN MEDICAL COOPERATIVE SERVICE

すべての人々の健康と
いのちが
まもられる
世界をめざして

日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）は、イエス・キリストの教えに従い、困難の中にある人々の健康といのちをまもり、人々と苦悩・喜びを分かち合うことを使命としています。保健医療従事者の派遣、奨学金支援、現地との協働プロジェクトをおこなっています。

助産師　雨宮春子
聖ヨハネ・パウロ２世病院（タンザニア）

ワーカー派遣

クリスチャンの医師や看護師など保健医療従事者（ワーカー）を、アジア・アフリカの国々に派遣しています。ワーカーは地域の人々とともに生き、その地域の保健医療従事者を育てています。地域の人々が自らの手で健康をまもっていけるようになることをめざしています。

JOCS 奨学金で学んだ看護師（ネパール）

奨学金支援

保健医療サービスが十分ではない地域で、貧しい人々や弱い立場におかれた人々のために働きたいと願う保健医療従事者を、奨学金で支援しています。研修の機会を提供することで、その地域の保健医療従事者の育成と、保健医療レベルの向上に協力しています。

協働プロジェクト

障がいのある子どもの療育活動（ケニア）

現地の団体と協働して、保健医療に関するプロジェクトをおこなっています。協働してプロジェクトをおこなうことで、現地の人々の力を活かし、より大きな効果を得ることができます。JOCS は活動資金の提供や専門家の派遣をとおして協力しています。

JOCS の活動に興味を持ってくださった方は、ぜひホームページをご覧ください。

https://www.jocs.or.jp/

バングラデシュの知的、身体的障がい者と共に生きる若者たちと、彼らを支える JOCS ワーカーの活動紹介の動画「心をひらいて」を公開しています。

https://www.jocs.or.jp/about/document/jocsdvd